

平成30年第3回定例会一般質問順序表

9月18日～19日

順序	議席 番号	氏 名	件 名	項 目	要 旨	備 考
1	5	若山 武信	1 障がい者雇用について	1 市職員の障がい者雇用状況について	1 障害者法定雇用率が今年2.3%から2.5%に改正されたが、政府中央省庁が障がい者数を水増ししたことが公となり、国会での紛争のもととなっている。当市の障がい者雇用の状況と雇用率について伺う。	
				2 民間企業の状況と指導について	1 当市には数多くの中小企業が存在しているが、それぞれの企業の障がい者雇用率はどうなっているか。また、その実態と行政の指導について伺う。	
			2 安全で安心な住みよいまちづくりについて	1 防犯カメラの設置について	1 防犯カメラは、人口減少に伴い、空き地・空き家が増えたので、それに伴う不審者や空き巣狙い等の防犯対策として、合わせて、「ごみの不法投棄は犯罪である」との観点から大型ごみの不法投棄や愉快犯等のポイ捨て防止のためにも、設置は必要だと考える。また、高齢者ドライバーが係わる事故や自転車の無謀運転事故を抑止し、交通事故から市民を守るためにも、設置の必要性について伺う。 2 防犯カメラの設置は、プライバシーの侵害に繋がりがねないので十分な配慮が必要。方法論や対応・対策について考え方を伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考	
1	5	若山 武信		2 特殊詐欺被害への対策について	1 毎年のように被害者が出る特殊詐欺。赤平市から絶対に被害者を出さないために、PR活動の徹底について考え方を伺う。また、超高齢化社会の中で認知症患者も増えてくる。市民生活の安全・安心のためにもセーフティネットワークの構築の必要性について考え方を伺う。		
				3 認定子ども園について	1 開設時期の考え方について	1 6月の定例会で、「認定子ども園を建設するなら、今しかない」とし、統合小学校建設と同時期かより早めて建設するべきとの要請をしたが、その後検討がなされているのか伺う。	
					2 財政面から見る建設の必要性について	1 平成31年度から建設が実施できないのであれば、将来の財政負担を抱えてまで、認定子ども園建設の必要性があるのかどうか、是非について伺う。	
2	7	伊藤 新一	1 子育て支援について	1 保育所の現状について	1 6月の定例会での答弁で、待機児童が発生していることが述べられたが、現在の待機児童の状況はどのようになっているのか伺う。 2 以前の答弁で、年度内に保育士の採用を行うとの事だったが、採用後の人数で保育士は充足されるのか。それに伴い、一時保育はできるようになるのか伺う。		

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
2	7	伊藤 新一	2 空き家対策について	1 倒壊の危険のある空き家について	1 暴風、積雪などにより、地域住民に被害が及ぶ恐れのある空き家の現状について伺う。	
			3 宅地分譲について	1 市有地と民有地について	1 赤平市が移住定住対策のひとつとして、地価の9割引きで土地を売っているが、そのことにより、市民個人が所有している土地の財産価値が下がっているように思うが、どのように考えているのか伺う。	
			4 遊休公共施設について	1 今後の小中学校の校舎活用について	1 小中学校統合後の施設の活用について、具体的方策が定まっているのか伺う。	
3	6	向井 義擴	1 赤平中学校の環境整備について	1 バス通学について	1 平岸、茂尻、住友地区から登校する生徒のために、各地区のバス停に待合室を設置する考えについて伺う。	
				2 植栽について	1 中学校敷地に花壇の造成や樹木の植栽をすることにより、学習環境に良い影響があると思われる。計画に対する考えについて伺う。	
			2 市民憲章の見直しについて	1 市民憲章が昭和49年に制定され、44年が経過している。時代の変化も大きいと思われるが、見直す時期にきていると思う。考えについて伺う。		
4	2	五十嵐美知	1 子育て支援と定住促進について	1 国の政策で取り込まれる3歳児からの幼児教育無償化について	1 今後の無償化に併せ、仕事を持つ保護者の増加が見込まれると思うが、幼稚園として、今後どのように考えていかれるのか伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
4	2	五十嵐美知		2 認定子ども園の進捗状況について	1 6月議会において、認定子ども園整備の建設時期と場所を年内に示すということであったが、その後、アンケート調査などの実施をしているが、プロジェクト会議などを含め、進捗状況を伺う。	
				3 子育て住宅と定住促進について	1 子育て住宅を戸建てによる定住促進についての考えを伺う。	
			2 乳幼児健診について	1 「網膜芽細胞腫」の早期発見の取り組みについて	1 乳幼児健診の医師検診アンケートの「眼」の項目に「白色瞳孔」を追加することについての考えを伺う。	
			3 防災・減災の取り組みについて	1 災害情報のあり方について	1 住民への情報提供のあり方と地域連携に伴う防災マップの活用について伺う。	
			4 赤平市炭鉱遺産ガイダンス施設について	1 7月14日オープン後の現状と今後の取り組みについて	1 現状の実績と今後のガイダンス施設を核とした事業展開について伺う。	
5	1	木村 恵	1 赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略について	1 推進本部、専門部会、ワーキンググループでの議論について	1 総合戦略検証会議に向けた内部協議がされていると思うが、それぞれどのような状況か伺う。	
				2 検証会議の時期・方法について	1 昨年12月の第4回定例会において検証会議の時期を早めることを提案した際、「会議形態の在り方等を含めた中で検討していく」と答弁している。今年の開催時期と形態はどうなっているのか伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考	
5	1	木村 恵		3 事業概要等の修正について	1 適宜行っていくと言っていたが、実際に修正した部分、あるいは予定している部分はどのようなものがあるのか伺う。		
				4 市内企業への転入出調査について	1 検証にあたって転入出調査をすべきだと繰り返し指摘してきたが、今年3月議会において市長は「きちんと調査して今後の施策に生かしていく」と答弁した。調査はしたのか伺う。		
				2 公共施設等総合管理計画について	1 マネジメント会議について	1 マネジメント会議について、関係各課と検討を進めているということであったが、すでに立ち上げられ議論が進んでいる状況なのか伺う。	
					2 個別計画について	1 個別計画は各公共施設の所管課が策定し具体的な作業に入っていくということだったが、どのような状況か伺う。	
				3 地域医療・介護について	1 エリアサポーターについて	1 平成30年度23名のサポーターが生まれ、131名となった。6地区の偏在は若干みられるものの一定の広がりとなった。今後は働く世代の参加を促すために市内企業へ協力をお願いしてみてもどうかと思うが、考えを伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
5	1	木村 恵		2 国民健康保険について	<p>1 重症化を防ぐ取り組みである特定健診、保健指導は積極的に行っていくべきと考えるが、それぞれの受診率はどうなっているか伺う。</p> <p>2 家族の人数に応じて保険料が増える均等割の仕組みは、他の健康保険にはない。多子世帯への負担軽減する自治体の取り組みが広がっている。赤平市でも取り組むべきではないか。</p>	
				4 地域共生社会の実現について	1 特別障害者手当について	1 身体または知的・精神に重度の障がいがあり、日常生活に常に介護を必要とする20歳以上の在宅の重複する重度の障がいがある方に対し、支給される手当。国の制度だが、該当の介護家庭に十分周知されていない例もあるという。赤平市ではこの周知をしているか伺う。
				2 手話の普及・周知について	1 手話条例が施行され広報あかびらの手話にチャレンジのコーナーも2年目に入った。今年は手話通訳者養成講座にも援助するなど少しずつ手話環境の整備は進んでいると思う。一方で普及・周知という面においては「一定の人数がまとまれば出前講座を行う」「庁議で各課が所管する団体への講習会開催について知らせた」と聞いているが、その後の進捗を伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
6	4	竹村 恵一	1 若者流出・少子化対策について	1 多様なニーズに応じた住宅支援について	<p>1 平成30年度市政執行方針の中で、市長は総合戦略・総合計画共に住環境整備に対する項目を掲げている。持家住宅に対する施策、または総合戦略の中の民間賃貸住宅に対する各種施策の継続、これらが当市の若者流出の歯止めに影響し、今後どのような考えで継続へ至ったのかを伺う。</p> <p>2 地域で安心して子どもを産み育てられる整備を目指すとして、子育て支援住宅の整備が計画通り進められているが、人口減少を考えた時、関係する整備も含め、早めていく必要があると思うが、考えを伺う。</p>	
				2 出産から子育てまで安心して暮らせるための経済支援について	1 高校生以下の医療費の無料化、高校通学費等助成、ひとり親世帯への助成、保育料の軽減拡充など続けてきているが、検証と今後への考え、更なる施策を伺う。	
				3 児童福祉施設整備計画について	1 本年4月の委員会報告後の動きと今後についてを伺う。	
				4 子育て支援条例について	1 昨年の同定例会で策定後の動きを確認している。本年4月施行後の動きと今後の考え方を伺う。	
			2 個性と魅力あるまちづくりについて	1 宿泊施設整備について	1 平成29年度に担当課による調査業務を行い、本年の執行方針の中で市長も誘致活動を行うと言っているが、現在の状況と今後の考えを伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
6	4	竹村 恵一	3 安心した生活と活気あふれる地域づくりについて	1 計画的なインフラ整備について	1 執行方針の中で上下水道共に収入確保と費用削減と言っている。人口減少、管の老朽化が進む中、当市はどのように考え、計画されて進んでいくのかを伺う。	
				2 協働のまちづくりについて	1 ふるさと納税は、多くの関係事業者の協力により、返礼品確保がなされ、多くの寄付件数、金額が寄付されていると聞いている。執行方針の中で、新たな返礼品と事業展開に対する体制整備に言及しているが、利用方法はどのような考えでいるか伺う。	
			4 公共施設管理について	1 公共建築物について	1 築後約38年が経過している図書館について、執行方針の中では、整備のあり方、関心を深める努力について言及している。公共施設等総合管理計画に今後の計画は掲載されていると思うが、何か他の計画が出たのか。どのように考えているか伺う。 2 住友地区テニスコートは市民まちづくり提案事業により、2年続けて事業展開がなされている。しかしながら、総合管理計画では、当面継続、多額の修繕時には移設とされている。土地が借地という事からも維持と考え方について伺う。他の市営テニスコートについてもどう考えるのか。 3 現在休止中の赤平山研修センター(集会施設)を含めた赤平山スキー場やスポーツセンターなどの運動施設は長年利用が無く、財政状況を見極めても今後どのように考えるのか伺う。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
7	3	植村 真美	1 庁舎内のおもてなし環境の整備について	1 庁舎案内板の設置について	1 近年要望し、予算も計上されている庁舎案内案内板ですが、その後どのような協議が進められ、いつ設置されるのか。	
				2 庁舎内出入口等のまちなかのPRの検討について	1 多くの市町村の庁舎出入口には、そのまちなかをPRするための情報や特産品などがショーケースなどに見やすく飾られている。当市においてももっと工夫するべきだと思うがいかがか。さらに、最近では、デジタルサイネージ、ご当地キャラクターの顔出し看板や市のロゴマークのデザイン幕など設置している市町村も多いが、当市の考えはいかがか。	
			2 まちなか安全・安心対策について	1 不審者の情報共有について	1 不審者の情報があった場合、その情報をいち早く市民に共有する方法をさらに検討すべきではないか。	
				2 連絡網の仕組みづくりについて	1 世代によって情報交換の方法は異なるが、最近では、携帯電話の普及により、携帯電話でのメールやSNSによる情報交換の利便性を求める声が多い。学校のこと、地域の防災のこと、さらに市内全体での情報発信を携帯電話で行う仕組みづくりはできないのか。	
				3 空き地・空き家の条例について	1 近年、人口減に伴い、空き地、空き家が増えている中で、その中でのトラブルにもより一層注力をしていく必要があると強く感じている。赤平独自の条例のあり方なども検討していくべきではないか。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
7	3	植村 真美	3 コミュニティの向上について	1 協働のための職員研修のあり方について	1 多様化する地域社会の中で、それぞれの考え方、動きだけではなく、横断的な地域社会や組織体制をつくっていくことが必要だと考える。そして、いかに市民が生きがいを持てる生活環境や地域に有益な組織連携の方向性を創り出していくのか、その考え方を市民とともに共有する場など、研修の一環として取り組んでいくことも必要と考えるがいかがか。	
				2 コミュニティ課の検討について	1 人口減に伴って、さまざまな団体が弱体化していくことが予想される。そこで、これからの行政運営や地域づくりにおいて、できないことを他団体やボランティアが協力し合える体制を築いていけるか、さらにできる事を発展的に伸ばしていくためのコーディネーター役が必要だと思うがいかがか。	
			4 子どもたちのスポーツ環境の考え方について	1 小学校のクラブ活動のあり方について	1 子どもたちが、スポーツ競技をしたいときに、学校のクラブ活動ではなく、地域の団体に参加しながら行っている。市内では、指導者も民間ボランティア等で対応しているところもある。しかし、中学校では、部活動がある競技もあり、小学校から中学校の連携体制やこれから小学校の統廃合もある中で、子どもたちがより一層スポーツ競技に集中できる体制を検討すべきではないか。	

順序	議席番号	氏名	件名	項目	要旨	備考
7	3	植村 真美		2 野外競技場の検討について	1 現在、野球やサッカーなどの練習の際に、小学校や中学校のグラウンドなどを使用していると伺っている。しかし、学校の行事で使用できない期間もあることから、廃校になったグラウンドを使用している状態である。その場合、トイレ、水道等の衛生施設が確保できていないため、練習時や近隣チームとの試合をする場合においても大変苦勞している状態である。今後、野外競技のあり方を含め、各団体と協議をした上で環境整備をしていくべきではないか。	